

2023

2.8 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

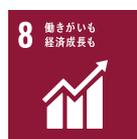
登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_bolFYuuReWCd8mHRXpE8Q

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

グリーンウォッシュとコンピテンズ・グリーンウォッシュが 持続可能な金融と ESG 投資に与える影響

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

4 質の高い教育を
みんなに8 働きがいも
経済成長も13 気候変動に
具体的な対策を16 平和と公正を
すべての人に17 パートナーシップで
目標を達成しよう

Key Words

ESG

サステナブルファイナンス

グリーンウォッシュ

コンピテンズ・グリーンウォッシュ

教育

サステナビリティ

キム シューマツハ 准教授

九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構

キム・シューマツハ准教授はルクセンブルク出身で、2022年8月に九州大学に准教授として着任する以前は、東京工業大学の講師および研究員（サステナブル金融・ESG（環境 [E: Environment]、社会 [S: Social]、ガバナンス [G: Governance]）担当）を務めていました。また、オックスフォード大学の研究員でもありました。

過去には、ルクセンブルグ環境・気候・持続可能な開発省へのコンサルティング活動や、オックスフォード大学で持続可能な金融の博士研究員として従事しました。また、ルクセンブルク大学や東京の国連大学で非常勤講師を務めた経験もあります。

アウトリーチ活動や学会会員として、GRI Global Sustainability Standards Board (GSSB) のメンバーです。また、公認環境保護士 (CEnv) でもあり、国際標準化機構 (ISO) の持続可能な金融に関する技術委員会 (TC 322) と環境マネジメントに関する技術委員会 (TC 207) の委員を務めています。さらに、気候変動開示基準委員会 (CDSB)、気候変動債権イニシアティブ (CBI)、グリーンファイナンスネットワークジャパン (GFNI) の技術作業部会にも所属しています。

研究テーマは、ESG データおよびインパクト指標、持続可能な金融フレームワーク、グリーンボンド、自然資本、生物多様性および生態系サービス、再生可能エネルギープロジェクト開発、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) / 自然関連財務情報開示タスクフォース (TNFD) などです。

サステナブルファイナンス、ESG 投資、サステナビリティレポートの台頭により、企業のサステナビリティパフォーマンスの主張と、適切な ESG インテグレーションやサステナビリティインパクト、例えば温室効果ガス排出量の測定、報告及び検証）を確保するための組織のリソースやキャパシティの間に徐々に乖離が生じてきています。

グリーンウォッシングとは、「グリーン」、「サステナブル」、「カーボンニュートラル」、「ネットゼロ」、「ネイチャーポジティブ」などといわれている商品やサービスが、実際には、環境、気候、持続可能性に関する基本的な検証可能性や信頼性の基準を満たしていないことを言います。

コンピテンズ・グリーンウォッシュは、ESG の専門的なスキルに関連するもので、教育や専門的な実績がなく、環境に関する能力や非財務的な持続可能性に関する専門知識を過大に主張するものです。

しかし、グリーンウォッシングとその亜種である「コンピテンズ・グリーンウォッシング」は、文脈的に孤立して起こるのではなく、サステナブル金融、ESG 投資、そしてそれらが支える力強いグリーン成長に強く結びついているのです。そこで、本発表では、サステナブルファイナンスと ESG の分野におけるグリーンウォッシュのリスクと、専門分野に関連するコンピテンズ・グリーンウォッシュについて検討します。